

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2025年8月)
—失業率は6.3%で低水準だがやや悪化

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

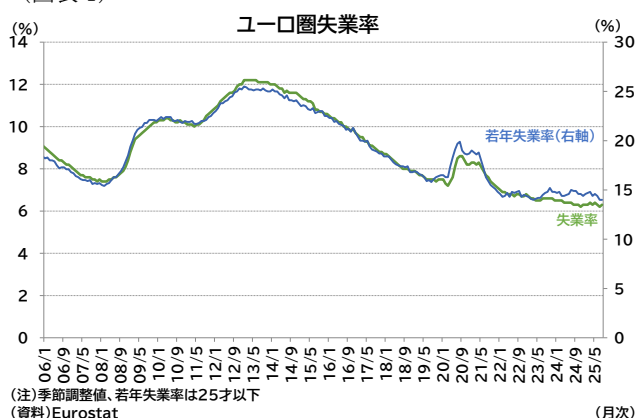
1. 結果の概要:全体の失業率は6.3%

10月2日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

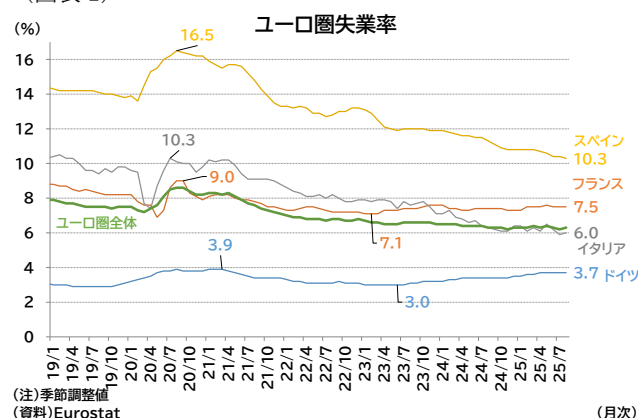
【ユーロ圏失業率(20か国、2025年8月、季節調整値)】

- ・失業率は6.3%、市場予想¹(6.2%)から上振れ、前月(6.2%)から上昇した(図表1・2)
- ・失業者は1084.2万人となり、前月(1083.1万人)から1.1万人増加した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:国別にはスペインの改善傾向とドイツの悪化傾向が継続

ユーロ圏(20か国)の8月の失業率は6.3%となり、過去最低水準となった7月(6.2%)からやや上昇した。なお、過去データはほとんど改定されなかった。

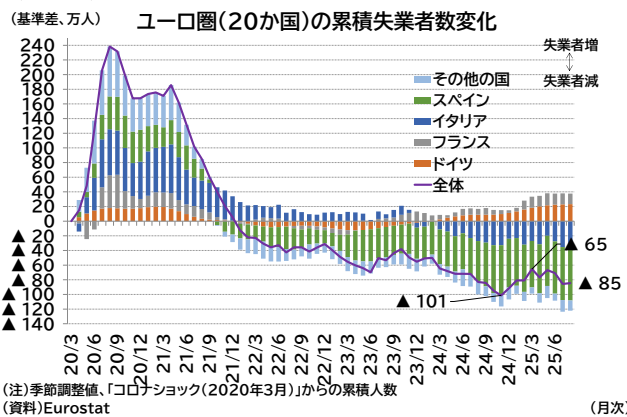
失業者数は8月の前月差で1.1万人増とやや増加した。主要4か国ではドイツ(0.3万人)、イタリア(0.7万人)が増加する一方で、スペイン(▲1.3万人)、フランス(▲0.6万人)が減少した。失業者数はコロナ禍前より85万人少なく、スペイン(コロナ禍前比▲74万人)が大きく、次いでイタリア(同▲35万人)が減少に寄与している。一方、ドイツやフランスはコロナ禍前よりそれぞれ23万人、14万人失業者が多い(図表3)。

8月の若年失業率は14.0%となり、7月(14.0%)から横ばいで、コロナ禍以降の最低水準(23年3月の14.0%)で推移している。なお、若年失業率は過去データがわずかだが悪化方向に修正されている(7月13.9%→14.0%、6月14.3%→14.4%、5月14.5%→14.6%)。若年失業者数は8月

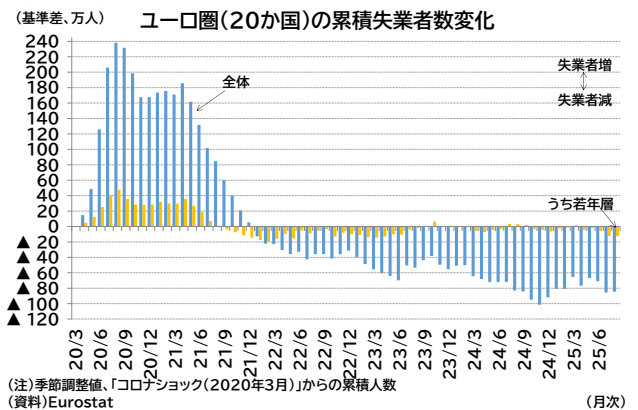
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

で222.0万人（前月差▲0.4万人）と減少し、若年失業者数の水準はコロナショック直前（20年3月の234.6万人）を下回っている（図表4）。

（図表3）

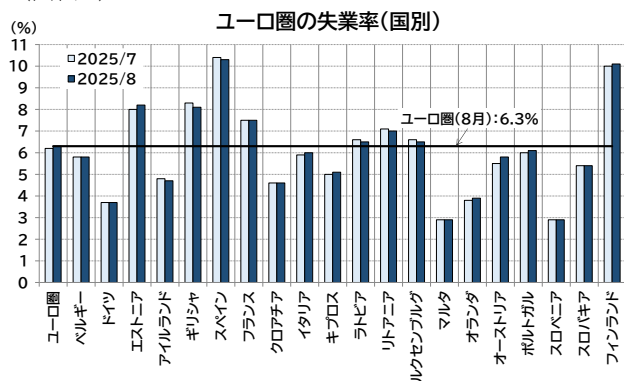


（図表4）

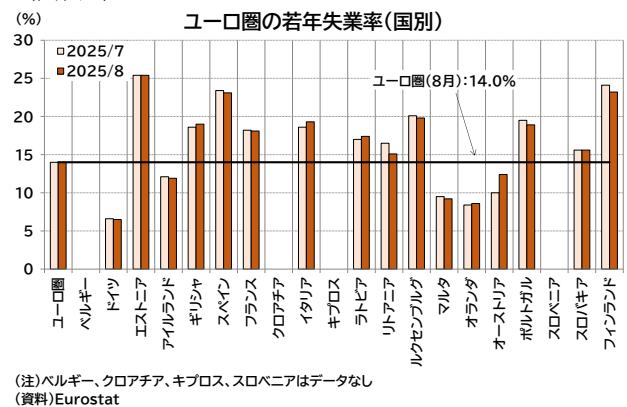


国別の8月のデータを見ると、失業率は公表されている20か国中、悪化した国が7か国、改善が6か国、横ばいが7か国だった（図表5）。若年失業率は、公表されている16か国中、悪化した国が5か国、改善が9か国、横ばいが2か国だった（図表6）。

（図表5）

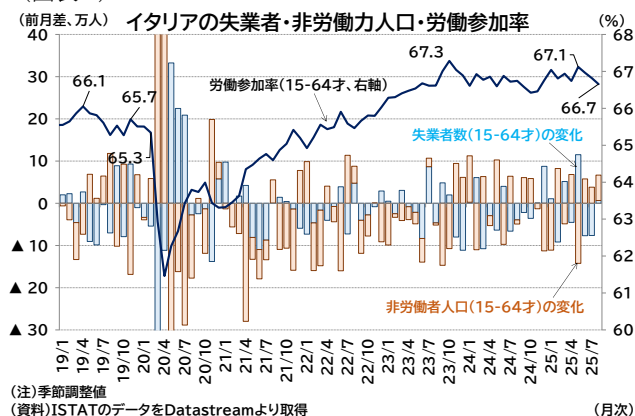


（図表6）

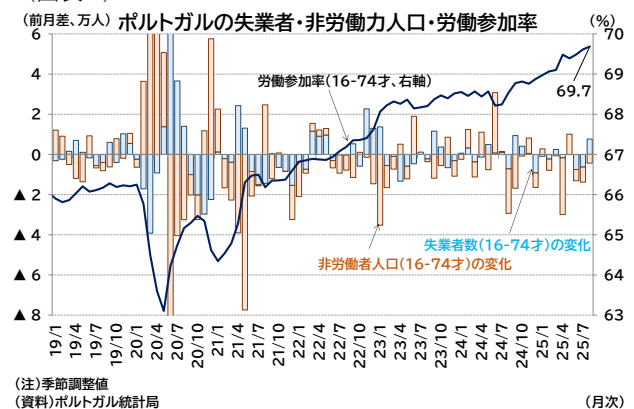


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者と非労働力人口が増加、就業者が減少し、労働参加率はやや低下した（図表7）。ポルトガルは失業者と非労働力人口が減少、就業者が増加した（図表8）。ポルトガルでは労働参加率の増加が続き、コロナ禍後の最高値を更新している。

（図表7）



（図表8）



本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。